

災害時には 「やさしい日本語」で



「やさしい日本語」とは

普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のことです。1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、多くの人が大変な被害を受けました。その中には、日本語を十分に理解できない外国人もたくさんいました。

そんな人たちが、災害発生時にできるだけ早く正しい情報を得られ、適切な行動をとれるように考え出されたのが、「やさしい日本語」です。

「やさしい日本語」は、外国人をはじめ、誰にとっても分かりやすいコミュニケーション方法の一つです。



なぜ「やさしい日本語」?

・外国人に分かりやすい

秋田県に住む在住外国人に対して、必要な情報を全ての母語に翻訳して伝えることは不可能です。外国人の中には、簡単な日本語であれば理解できるという人もいます。そのため、翻訳よりも短い時間で情報を発信できる「やさしい日本語」が効果的です。

・日本人にも分かりやすく、使いやすい

子ども、高齢者、障がい者にとっても分かりやすく、ポイントを押さえれば誰でも簡単に使うことができます。

どんなときに使う?

- ・災害時や緊急時など、急いで情報を伝えないといけないとき
- ・窓口での手続きなど

「やさしい日本語」の作り方 (一例)

- ① 相手にとって必要な情報は何か考える
- ② 一文を短くする。一文の中で提供する情報は一つに絞る
- ③ 難しい言葉は、わかりやすい簡単な言葉にする
- ④ 漢字にはルビ(ふりがな)をつける

(例)

土足厳禁 → 靴^{くつ}を脱^めいでください 禁煙 → たばこ^すを吸^すわないでください

電車は終日運休です → 電車^{でんしゃ}は、一日中^{いちにちじゅうご}動きません



お問合せ 公益財団法人秋田県国際交流協会 Akita International Association (AIA)

〒010-0001 秋田市中通 2-3-8 アトリオン 1F

TEL:018-893-5499 FAX:018-825-2566

E-mail:aia@aiahome.or.jp URL:http://www.aiahome.or.jp

